

## 式辞

日一日と春の足音が聞こえてきます。この佳き日にPTA会長中村 淳様をはじめ多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、広島市立安西中学校 第32回卒業証書授与式をこのように盛大に挙行できますことは教職員一同、この上ない慶びとするところでございます。高いところからではございますが心よりお礼申しあげます。ありがとうございました。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。3年間お預かりいたしました皆様の大切な宝物を本日、卒業という形でお返しいたします。十分に磨ききれなかったところも多々ございますが、どうかご容赦いただきたいと思います。しかしながら、お子様は今、立派に成長し、卒業証書を受け取ってくれました。保護者の皆様のご支援、ご協力に感謝申しあげます。

さて、卒業生のみなさん。あらためて卒業おめでとう。今日皆さんはこの安西中学校を巣立っていくわけですが、この3年間皆さん一人一人が一生懸命にがんばってきた多くのことに敬意を表したいと思えます。

卒業に際し、私から皆さんに3つの提言をしたいと思えます。これからの人生の中で心のどこかにとどめていてくれたら幸いです。

一つめは、命を大切にしてください。『一人一人のいのちは地球よりなお重し』命を大切に生きることは人として絶対に忘れてはならないことです。両手を左右に広げてみてください。今広げた両手の先から先までを地球の今までの長さとしましょう。約46億年です。左手の先でビッグバン地球が誕生です。そして、右のひじくくらいで生物が誕生します。そして、右手の手のひらくらいの長さがいわゆる恐竜時代、恐竜が繁栄した時代です。では我々人類はどのあたりから出てきたのでしょうか。実は私たち人類が地球で生きている長さは今の皆さんの爪の先を2~3回やすりでこすった程度の長さしかないのです。恐竜は手のひらくらいの長さ繁栄したのに比べ、人類の生きてきた長さのなんと短いことだとおもいませんか。だからこそ、今この瞬間にある命を大切にしてほしいのです。

二つめは自分を大切にしてください。人生には多くの分かれ道があります。右か左か、迷うことがたくさんあると思えます。そんなときには人としてどちらが正しい道なのかしっかりと判断してください。もちろん自分の責任で。人のせいにはしない生き方が本当に自分を大切にできる生き方だと思います。また、そういう生き方ができる人は他の人も大切にします。自分を愛するのと同じくらい、またはそれ以上に人を愛する人間になってください。

三つ目はこの安西中学校を心のふるさととしていつまでも心に残しておいてください。人生に悩んだとき、苦しんだときにふっと中学校の楽しかった出来事が心に浮かび、あの時に会った友の笑顔が自分を力づけてくれるものです。時には先生と言いつ合ったりしたでしょう。また時には、友達と涙したこともあるでしょう。そんな思い出のいっぱい詰まった安西中学校を忘れないでください。

今までの15年間はおうちの方の援助、地域の皆様の応援、先生方の励ましに守られたいわば温室のような15年間ではなかったでしょうか。今日からはちがいます。これからの自分の人生では今まで以上に多くの人と出会うことでしょう。人生において出会う人とはそれなりの理由があります。また、その出会う時も、早からず、遅からず、すべて正しい時に出会っているのです。そんな出会いを楽しみに、一度しかない人生を自分の責任で力強く生き抜いてください。

『感動は努力の数に比例します』努力は決して裏切りません。じっと我慢をし、努力を続ける人に本当の幸せは訪れることでしょう。

卒業生のみなさんの今後の活躍に大いに期待して式辞といたします。

平成21年3月11日

広島市立安西中学校

校長 松重 修